広報 さざ

昭和60年
2月(第108号)

メロディー橋完成

口石小鼓笛隊が渡初め

町の総人口

【12月31日現在】

総人口	12,055人
男5,737人	女6,318人
世帯数	3,573世帯
出生 15人	死亡 7人
転入 55人	転出 42人

十二月定例町議会

―一般会計予算総額二十八億五千万円に―

第四回定例町議会は、十二月十九日から二十二日までの四日間にわたり開催されました。

この定例議会では、各会計補正予算案など十四件が上程されたほか、町長報告四件、議会関係九件の報告、一般質問などが行われました。

【町長報告】

松浦線自治体協議会の陳情について、全国町村長大会出席について、佐々川取水協定調印について

【議会関係報告】

第二十八回町村議会議長全国大会出席報告、郡町村議会議長会第三回定例会出席報告、総務委員会審査結果報告、厚生文教委員会審査結果報告、町文化センター建設特別委員会審査結果報告、町学童農園建設特別委員会審査結果中間報告、文化会館運営委員の報告

【議決された議案】

▽工事請負契約締結の件（専決処分）
▽町過疎地域振興計画の承認を求めるの件
▽固定資産評価審査委員会委員選任の件　川内野　軒氏
▽町福祉医療費の助成に関する条例の一部改正の件
▽町乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正の件
▽昭和五十九年度一般会計補正予算（第四号）

歳入歳出それぞれ五千五百五十六万四千円を追加し、歳入歳出予算の総額はそれぞれ二十八億五千三百五十七万一千円となりました。

▽昭和五十九年度国民健康保険特別会計補正予算（第一号）
▽昭和五十九年度水道事業会計補正予算
▽職員給与に関する条例の一部改正
▽昭和五十九年度一般会計補正予算（第五号）
▽昭和五十九年度国民健康保険特別会計補正予算（第二号）
▽昭和五十九年度国民健康保険診療所特別会計補正予算
▽昭和五十九年度水道事業会計補正予算（第三号）

詳しくは、議会だよりをご覧ください。

新成人を祝う

新らたに173人が成人

今年の新成人者は、全国推計で一七一万人。佐々町では男七十九人、女九十四人、合計一七三人が成人式を迎えました。（県下二一、九八四人）

一月五日の成人式では、菊本町長の式辞や来賓の励ましの言葉。新成人者を代表して、伊達剛志君（口石）が誓いの言葉。前田直美さん（里）が感謝の言葉を述べました。

ひととおりの式典が終り、詩吟クラブによる「祝成人」で祝い、大正琴クラブは「美しき天然」など三曲。町青年会が「熱風太鼓」を披露。又新成人を祝う「紅白もちつき」や「立食パーティー」を催しました。

そのほか記念樹「さざんか」の植樹、映画の上映など、盛りたくさんの行事で新成人を祝いました。

▲新成人の門出を祝って祝辞をのべる菊本町長

▲サザンカを記念植樹する新成人（文化会館横の花壇）
◀町婦人会のみなさんがつくったぜんざいを賞味する。

●選挙一口メモ●

忘れていませんか？

贈らない！受け取らない！求めない！

〝きれいな選挙〟を実現するためにひとりひとりが取り組まなければならないルール、それが「寄附禁止」です。

政治家や立候補予定者は

お金や品物をお歳暮、寄附その他の名目で贈ることはいけません。

有権者は

政治家や立候補予定者からのお歳暮、寄附などを受け取ったり、求めたりしてはいけません。

消防出初式

佐々町消防団無火災表彰

晴天の一月六日、佐々中学校グランドで新春を飾る佐々町消防出初式が寒風をついて行われました。

式典は、午前九時、里元団長以下一九八名が、多くの来賓、観覧者の見まもる中に集合、団長の訓辞、町長挨拶、『菊本町長は、昨年の無火災については団員のみなさんの日頃の防火思想の普及と町民のご協力と団員の訓練に精進された賜であると感謝の意をあらわすとともに、今後、里元団長を中心として益々一致団結して、町民の付託にこたえることをお願いします』

◀佐々川での一斉放水

▶里元団長以下一九八名がせいぞろい

と挨拶しました。つづいて服装及び機械器具点検、五分団と六分団による基本操法、表彰では、勤続三十年で里元団長が県消防協会長から表彰されたほか、退団者に対し消防庁長官の表彰がありました。

式典の最後は、元消防団長寺崎只男氏による火の用心の三唱でしめくくりました。

式典終了後は、中央商店街を威風堂々七個分団が行進、菊本町長の観閲を受け、最後は、佐々川での一斉放水、ラッパ手の合図で七色の水柱があがり観覧者の目を楽しませました。

メロディー橋が完成

口石小鼓笛隊が渡初め

昨年十二月二十二日、赤崎橋橋梁新設整備工事が完成し渡初式が行われました。

この工事は、三年継続事業として、五十七年度に着工されたもので、総工費一億一千九百万円（国庫補助金七千七百万円）を投じて整備されたもので、県下でもめずらしいメロディー橋です。

メロディー高欄に備えつけのスティック（たたき棒）でたたくと、童謡「あかとんぼ」の曲が流れるユニークな橋です。この日は、小雪の舞う寒い日でしたが、元気な口石小

▶口石小鼓笛笛隊を先頭に渡初め

学校鼓笛隊の演奏を先頭に関係者が渡初めを行いました。

●町建設課からのお願い●

メロディー橋に備えつけのスティックは、使用された後は必らず所定の位置へもどして次の人が使用できるよう、お願いいたします。

一日一円町村交通災害共済受付中

わたしくたちのごく身近かなところで、毎日交通事故が発生し、歩行者も、車も、人も危険にさらされております。このような予期しない交通事故のため、一定の災害見舞金をお支払いするのが、町村交通災害共済制度です。家族そろって加入しましょう。

現在加入している人は三月三十一日で共済期間が終ります。まだ加入をされていな方はこの機会に申し込み下さい。

59・12・1現在

○加入状況　二九・五%

○見舞金支給額　一〇件

一、五〇〇万円（内死亡一件）

共済掛金　一人につき三六〇円

共済期間　六〇年四月一日から一年間

申込受付　二月一日から

申込先　役場総務課

※二月二十五日から三月八日まで税の申告と同時に各町内会をまわって受付いたします。申込書は先に、各町内会を通じて全世帯に配付しますのでご利用下さい。

度決算のあらまし

十二月定例町議会で、昭和五十八年度の決算が承認されました。

この決算とは、みなさんが納めた税金や、国や県からもらったお金（国県補助金、地方交付税等）又借りたお金（町債）がどれくらい入り、どのように使われたか、また、厳しい財政状況の中でいかに効果上げることが出来たかを見きわめる、町の家計簿です。

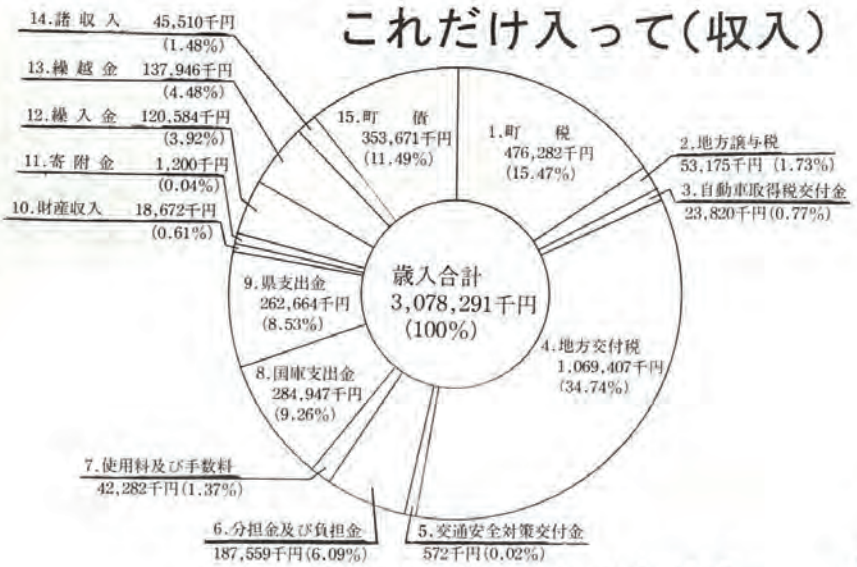
【一般会計の収支状況】

歳入（収入）が総額三十億七千八百二十九万一千円に対し、歳出総額二十九億七千八百八万二千円で歳入歳出差引残が一億二十万九千円となり、五十九年度の決算を終了しました。

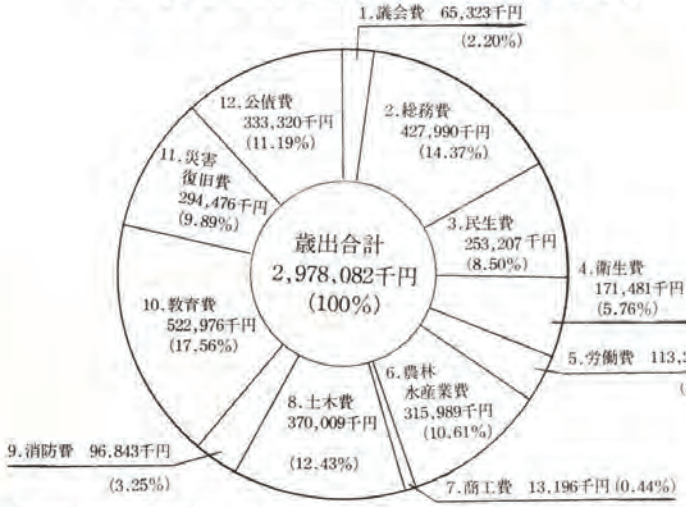
支出合計 四十六億四千八百十万八千円

一般会計

これだけ入って（収入）



これだけ使われた（支出）



特別会計

国民健康保険特別会計

収入 4億6301万6千円

支出 4億3428万4千円

老人保険会計

収入 5億4944万8千円

支出 5億4365万3千円

診療所事業会計

収入 1億2597万3千円

支出 1億3356万8千円

水道事業会計

収入 1億6857万9千円

支出 1億8303万1千円

宅地造成事業会計

収入 3億7649万円

支出 3億7549万円

●収入が支出額に不足する額は、損益勘定留保資金建設改良資金をもって補てんしました。

58年度投資的事業実績

事業名	事業費
(一) 普通建設事業	847,703
(1) 補助事業	464,135
広報無線施設整備事業	3,500
第二保育所大規模修繕工事	10,590
新農業構造改善事業	75,910
飼料基盤整備事業	42,808
片木線農道開設事業	23,230
神田下地区農道舗装事業	7,576
角山地区農道舗装事業	8,080
大茂市瀬線林道舗装事業	12,893
間伐促進対策事業	1,010
神田市瀬線道路舗装事業	15,600
赤崎橋橋梁新設工事	27,000
交通安全施設整備事業(歩道)	19,110
近隣公園整備事業	10,000
運動公園整備事業	20,000
過疎地域総合センター建設事業	181,628
防火水槽建設事業	5,200
(2) 単独事業	366,441
町議会会議用ユニット購入	1,080
庁舎会議室改築工事(繰越明許)	1,700
電子式電話交換機設置工事(繰越明許)	5,100
小規模環境整備事業	497
町管理住宅地舗装工事	1,800
町内会有線放送工事補助	907
交通安全施設整備工事	1,070
第二保育所倉庫建設工事	210
自動血圧測定器購入	1,120
学童農園用地買収費	19,361
佐々東部地区かんがい施設整備補助	12,816
浄香谷地区農免農道事務委託費	346
片木線農道開設事業測量委託料	875
自然災害防止事業	1,515
換地特別対策事業	1,846
長崎県みどりの基金緑化事業	1,000
古川岳遊歩道開設事業	6,081
商工会館建設事業補助	1,786
町道新設改良工事	96,821
同上　用地買収費	957
羽須和川河川改良事業	13,120
近隣公園整備事業	1,500
運動公園整備事業	13,500
芳浦運動公園整備事期	650
町営住宅団地内舗装工事	2,440
口石小学校補修及び塗装工事	9,570
口石小学校フェンス張替工事	3,647
口石小学校玄関ドア取替工事	450
佐々小学校バックネット補修工事	150
佐々小学校グランド整備工事	2,300
佐々中学校旧校舎教室防音、教具室増築工事	7,500
佐々中学校高架水槽配管工事	275
幼稚園渡り廊下屋根設置工事	1,120
過疎地域総合センター建設事業	134,898
町内会公民館増築工事補助	3,232
プール管理棟増築工事	500
消防団第六分団詰所新築工事	10,000
消火せん新設工事	2,010
防火水槽有蓋工事	2,431
第一分団進入路拡幅工事	700
第二分団サイレン取付工事	160
(3) 県事業負担金	10,625
浄香谷地区農免農道負担金	5,300
県道工事地元負担金	5,325
(4) 受託事業	6,502
県営住宅受託事業	6,502
(二) 災害復旧事業	292,961
(1) 農林水産施設	212,187
第２牧崎地区鉱害復旧事業	35,500
佐々東部地区鉱害復旧事業	83,480
家屋等鉱害復旧事業	8,548
佐々東部地区鉱害復旧事業(繰越明許)	14,200
57年災農地災害復旧費	7,544
57年災農業用施設災害復旧費	10,946
57年災農地災害復旧費(繰越明許)	3,160
57年災農業用施設災害復旧費(繰越明許)	15,444
58年災農地農業用施設災害応急復旧費	254
58年災自然災害防止事業応急復旧費	549
58年災農地災害復旧費	11,787
58年災農業用施設災害復旧費	19,575
農林水産施設災害復旧総務費	1,200
(2) 公共土木施設	80,774
公共土木施設災害復旧総務費	5,950
57年災河川等災害復旧費	27,117
58年災河川等災害復旧費	47,707
(三) 失業対策事業	110,460
一般失業対策事業	33,240
産炭地域開発就労事業費	54,373
特定地域開発就労業業費	22,847

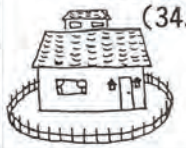
58年

町税の内訳

総額 476,281千円

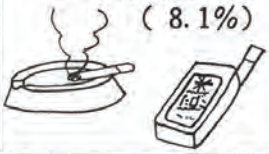
町民税
240,396千円
(50.5%)

固定資産税
165,465千円
(34.7%)



軽自動車税
8,670千円
(1.8%)

たばこ消費税
38,436千円
(8.1%)



電気税
22,509千円
(4.7%)

特別土地保有税
803千円
(0.2%)

おめでた　おくやみ

（敬称略）

ご結婚おめでとう

氏名	
夫	松田　浩二
妻	向井久美子
夫	筒井　浩一
妻	下山セイ子
夫	内間　安彦
妻	椎木伊保子
夫	徳永　俊幸
妻	辻　キミ子
夫	川上　一郎
妻	馬場由美子
夫	本山　敏宏
妻	江藤　悦子

お誕生おめでとう

父の名	母の名	
続柄	出生児	
小柳　恭介	清美	二女　麻実
武田　政幸	サユリ	二女　寛海
田島　富男	ミチコ	長男　副一
久住呂　茂	まち子	二男　和樹
辻　克也	恵子	二男　博昭
辻　重徳	美雪	二男　義明

松本　康弘	真利子	長女　紗弥華
森　弘幸	子	長女　いづみ
渡辺　政己	房江	四女　幸恵
前田　輝幸	由美子	長女　美香
都市　賢典	久美子	長男　晃典
南　国昭	順子	二男　拓也

ご冥福を祈ります

氏名	年令	
福田種三郎	80才	土手迎
川端　エツ	76才	四ツ井樋
田中　サノ	57才	浜迎
松田　アサ	93才	木場
立石　栄	83才	東町
山口関太郎	86才	神田
鴨川　新一	77才	栗林
村上　ワカ	86才	大茂
寺田安太郎	77才	鴨川

昭和六十年一月十五日現在

国の進学ローン取扱中

●利用できる方

高校、短大、大学、専修学校等へ来春進学される方の、ご父母等。

●融資内容

○一進学者につき五十万円以内
○年利率　七・六%
○ご返済　二年～四年以内
○保証人は基金保証に依頼すれば不要です。
●受付期間
○毎年十一月から翌年四月まで
●取扱機関

国民金融公庫、及び最寄りの金融機関、農協の窓口へお気軽にご相談ください。

県立建設大学校　学生募集

昭和六十年度入試要項

二ヶ年、全寮制、学費および受験料免除

▽受験資格　高校卒男子（三十七年四月二日～四十二年四月一日生まれの者）
▽願書受付　六十年二月八日(金)（八日の消印有効）
▽試験日　六十年二月十七日(日)
▽試験地　大村市
▽試験科目　数学（Ⅰ・基礎解析）・理科（Ⅰ）・国語（Ⅰ・Ⅱ）および作文
▽就職先　主として県内官公庁並びに建設業界
▽就職率　一〇〇%
▽就職率　一〇〇%

詳細は学校に入試要項をご請求ください（送料二四〇円）

長崎県立建設大学校
大村市宮小路三丁目五
電話〇九五二⑤七一三一(代)

うつりゆく　ふるさと　心の窓

元報国炭鉱　山田英子

昭和六十年一月三日、佐々中学校同窓会出席の為、横浜より佐々町に十七年ぶりに帰って来ました。

実は両親が湯の街、嬉野町の近くに住んで居るので、一先ず両親の所に立寄り、嬉野発、平戸行の特急西肥バスに乗って佐々町に赴いたのですが、途中、車窓に映る景色を感慨深く眺めながらまいりました。驚いたことに道路が整備され、工場が増え、カラフルな住宅が山の上まで続いて、昔の面影は全く見受けられず、特に佐世保市街を過ぎ、本山、芳ノ浦と移り変わる景色は懐かしく、神田小、佐々中時代、母と二人で、松浦線の列車に乗って眺めた頃の景色が思い出されてなりませんでした。然し今日では、松浦線を走る石炭列車も見られず、又駅舎も少なくなり、移り変わりの激しさに淋しい思いも交叉して、想いに更けている中に佐々の中央街に到着したので、下車した途端、商店街の発展や公民館附近、家の増えたこと、街の通りが多くなったこと、これまた昔の面影はなく只々驚くばかりでした。何だか知らない街を通っている様な感がしてなりませんでした。

又、佐々町役場や中学校の建物の立派な事、この附近の道路も都会並みに整備され、目を見張るばかりで、この十数年の間によくもこの様に発展したものだと驚くばかりでした。私達が住んでいた頃、十数年前は、多くの炭坑があって坑員さんの数も多かったろうと思っていた。それに現在は炭坑も全くなく、町の人口も減って寂れた街になったのではないかと思っていたのに、何とこの様に発展しニュータウンが出来、これから田園都市として佐々町が益々発展して行くことを心に念じながらペンを置くことにします。

ふるさとの足　松浦線を守ろう

国保年金だより

忘れていませんか!!

退職者医療制度の届出を

▲対象は、70才未満の老令年金受給者▼

◉昭和五十九年十月一日から国民健康保険の中に退職者医療制度ができ、従来の国保に比べ自己負担が軽減されます。

◉この制度の対象者は、厚生年金や共済組合などから老令（退職）年金等を受給している方とその被扶養者です。

◉現在、国保に加入している方で、この制度に該当すると思われる方は、すぐ届け出を済ませましょう。

※退職者医療制度の被保険者として認定されている方は、受診の際必ず、現在使用している保険証と国保で発行している「退職被保険者等証明書」（黄色の用紙のもの）を窓口へ提示して下さい。

その他疑問な点がありましたら佐々町役場住民福祉課国保年金係（電話六二―二一〇一）まで御連絡下さい。

年金保険料は決められた期限内に!!

国民年金保険料は、もう納めましたか。納め忘れはないかどうか、今一度お確かめください。

保険料を定められた期限までに納めていませんと、万一事故があった時に障害年金や母子年金はもちろんのこと、将来の老齢年金さえ受けることができなくなる場合があります。

事故がおきてから、あわてて保険料を納めても間にあいません。

保険料は忘れずに、定められた期限内に納めるようにしましょう。

保険料は所得から控除されます

国民年金の保険料を支払った人は、自分の分はもちろん家族の分も「社会保険料控除」の扱いをうけ、所得税の控除の対象となります。

このため、二月十六日から三月十五日までに行う所得税の確定申告の際には、昭和五十九年中に納めた、国民年金保険料の控除の申告をして下さい。

尚、五十九年中に転入された方で、転入前の納入分については、前住所地から証明を受けて添付して下さい。

福祉医療制度が変わりました

昭和五十九年十月一日から、健康保険法の一部が改正され、社会保険に加入している被保険者本人も医療費の一割を負担しなければならなくなりました。この為福祉医療制度では助成対象者を社会保険本人まで拡大するとともに、次のとおり、一部に所得制限又は医療費の定額控除を導入しました。

◎福祉医療制度の改正点

一、健康保険法の改正に伴い社会保険各法に加入している障害者本人（身体障害者手帳一級・二級・三級若しくは療育手帳A_1・A_2・B_1いずれかを所持している人）並びに母子家庭の母及び寡婦本人を助成対象者に加えました。

二、障害者医療について、福祉手当給付費の所得制限と同額の所得制限を導入しました。

三、障害者医療について、定額控除を月四〇〇円から五〇〇円（入院の場合二カ月を限度）に引き上げ全対象者に適用させました。

四、乳児及び母子家庭医療について、月五〇〇円（入院の場合は二カ月を限度）の定額控除を導入しました。

"心身障害者に手をかして下さい"

黄色のハンカチ

《黄色地に青文字》

手をかしてください

今般心身障害者に、図のような黄色のハンカチが配布されています。このハンカチを振って応援を求めている方を見かけましたら優しい愛の手をさしのべていただきますようお願いします。

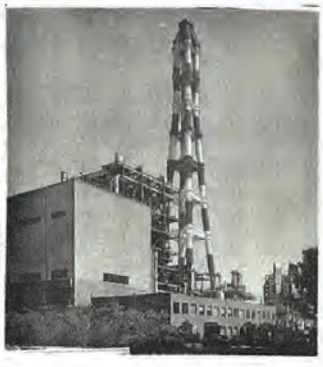
九電からのお知らせ

九州電力㈱相浦発電所航空障害灯が変ります

赤く点滅している煙突の灯が、この度の航空法の改正でカメラのフラッシュのような灯に変ります。

この灯は二十四時間点滅し遠くからも見えますので、現在よりも船舶などの目じるしになると思います。

佐世保市光町一八三の一
九州電力㈱相浦発電所
☎０９５６㊼２８８０



今年は 1985 国際青年年

広く社会の人々が、将来の社会における青年の果たす役割の重要性を認め、青年の諸活動に協力し、また青年自身自己をとりまく身近な問題から地域、国、国際レベルの課題にまで目をむけ、これらの課題解決の主役は青年自身であるとの自覚を持って行動することをめざすものです。

「国際青年年」のテーマは**参加・開発・平和**の実践となっています。

スポーツ

第五回マイペース　ロードレース

一月十三日、第五回佐々町マイペース・ロードレース大会が行われました。

この日は、みぞれまじりの悪天候にもかかわらず、一般男女、家族組に約六十名が参加して行われ全員が完走し、寒さを吹きとばしました。

成績は次のとおりです。

一般の部

優　勝　伊藤知和子（東町）
タイム差　二十七秒
準優勝　志水　善三（里山）
タイム差　四十二秒
三　位　森田　迪夫（里）
タイム差　四十三秒

家族の部

優　勝　長谷　勉、克也組（沖田）
タイム差　五十四秒
準優勝　古庄　剛、英介、敬史組（里）
タイム差一分十一秒
三　位　永安　勝子・隆弘組（沖田）
タイム差一分二十四秒

小学生の部

優　勝　坂本　徳明（里）
タイム差　五秒
準優勝　筒井　太助（里）
タイム差　十二秒
三　位　川下　忠久（里）
タイム差　十六秒

お知らせ

町内バドミントン大会

次のとおり第十回町内バドミントン大会を開催いたしますので多数参加されますようお知らせします。

一、期日　三月十日（日）
二、時間　午前八時三十分集合　九時開会
三、場所　町民体育館
四、内容　団体戦
（一チーム六人とし、うち女子二人を必ず入れること）
五、申込み　二月二十八日までに、佐々町公民館へ申込みください。

第四回商工会長杯　ソフトボール大会

3月3日（日）

佐々町商工会では、ソフトボール大会（ファーストピッチ）を開催いたします。

多数ご参加下さい。

○大会期日　三月三日(日)
○会　場　千本運動公園グランド
○選手資格　町内居住者、もしくは職場チーム（学生は認めない）
○申込期限　二月二十日(水)
○申込先　佐々町商工会
○参加料　二千円（一チーム）
※詳しくは、商工会へおたずねください。（電話㊷３１７１）

所得税・贈与税の申告受付始まる

昭和五十九年分の贈与税の申告と納税は、二月一日から三月十五日まで、所得税の確定申告と納税は二月十六日から三月十五日まで受付となっております。

申告は、できるだけ早目に済ませましょう。

○白色申告者の記帳制度等

所得税法の一部が改正され課税の公平を一層進めるため事業所得など（事業所得・不動産所得・山林所得）のある人は、記帳や書類の保存などをしなければならないことになりました。

詳しくは、平戸税務署（電話０９５０２③２１３１）へおたずねください。

学校用務員業務　受託者募集

つぎのとおり学校用務員業務の受託者を募集します。

●募集人員―一名（業務受託者）●職種―学校用務員（正規の町の職員ではない。）●条件―㋑佐々町内在住者で六十才未満の女性に限る。㋺佐々小学校勤務。㋩昭和六十年四月から三カ年契約。㋥委託料月額九万円を支払う。㋭年間休暇二十日間を与える。●申込方法―履歴書（写真貼付）に必要事項を記入して、佐々町教育委員会事務局に提出のこと。●申込期間―昭和六十年二月十二日から昭和六十年二月二十八日(午後五時まで)

長町おもな日誌

【十二月】

22日　定例町議会、社協理事会
赤崎橋落成式
23日　さざなみ保育園遊戯会
学童農園起工式
24日・全国鉱業市町村連合会、産炭地域六団体協議会大会、農林水産省・通産省・資源エネ庁へ六十年度予算陳情（東京）
25～26日　全鉱連、鉱害事業団六団体各省へ陳情（東京）
27日　小佐々町長外と鉱害関係陳情（東京）
28日　御用納め式
29日　松田代議士を囲み六十年度町政事項について懇談

【一月】

1日　新年祝賀式
4日　御用始め式、九友会新年会
5日　町成人式、新春放談会
6日　町消防団出初式
7日　鉱害評議員会九州地方部会（福岡）
8日　課長会、保育所懇談会
9日　県庁へ新年挨拶（長崎）
13日　市瀬町内会総会、栗林町内会総会

佐々町社協だより

(でんわ)㊷2655

寄付のお礼

◎香典返しとして
▽故富田　ム子殿
　市瀬　富田　巍殿
▽故末永　カネ殿
　市瀬　末永　信一殿

以上の方々から、ご好意による多大のご寄付を戴きました。紙面をもって厚くお礼を申し上げます。

なお、12月分受付いたしました分については、広報締切上、今月掲載になりましたこと、深くお詫いたします。

社会福祉法人
佐々町社会福祉協議会
会長(町長)　菊本春夫

心配ごと相談所開設

♡毎週水曜日　午後一時から
♡場所　老人福祉センター
♡相談日　三月(六日・十三日・二十日・二十七日)
※相談は無料、秘密厳守です。お気軽にご相談下さい。

社協の貸付金について

《高令者居室整備資金》
お年より(六十才以上)専用のお部屋を増改築する資金です。

●貸付金の限度額　百二十万円以内
●貸付金の利息　年三%
●申込みは毎月月末〆切

赤い羽根共同募金　歳末たすけあい募金のお礼

十月一日から全国一斉に実施されました「赤い羽根共同募金運動」及び十二月一日から実施されました「歳末たすけあい運動」は、町内会の皆さまはじめ、町内企業、事業所、大型店舗、商店、個人、病院・各職場など、また佐々小、口石小、佐々中学校児童生徒の皆さん方、また、地域婦人会、町青年会、市瀬躍進会からきねつき餅など、あたたかい心をお寄せいただき、目標額を上まわることができました。厚くお礼申し上げます。

なお、結果は次のとおりです。

★赤い羽根共同募金
◎目標額　一、三五四、〇〇〇円
◎実績額　二、〇五二、五七五円
　(実績額に応じ、県共同募金会より配分金(一、五六八〇〇〇円見込)があり六十年度の福祉事業費として使用させていただきます。)

★歳末たすけあい募金
◎目標額　九七六、〇〇〇円
◎実績額　一、〇〇〇、〇一〇円

なお、配分結果は次のとおりです。

・低所得　(三二世帯)
　二九八、〇〇〇円
・長期入院患者　(九七人)
　三八八、〇〇〇円
・長期結核入院患者　(八人)
　三二、〇〇〇円
・在宅ねたきり老人(一四人)
　五六、〇〇〇円
・在宅重症心身障害者(二二人)
　八八、〇〇〇円
・その他の在宅者　(八人)
　三二、〇〇〇円
・福祉施設(一世帯)
　五〇、〇〇〇円
・事務費その他の経費
　五六、〇一〇円
・義援品　もち　60キロ

低所得世帯、福祉施設へ配分

共同募金会佐々町分会
　会長　菊本春夫
佐々町社会福祉協議会
　会長　菊本春夫

12月の利用状況

佐々町	1,175人
小佐々町	100人
吉井町	50人
世知原町	9人
江迎町	73人
鹿町町	54人
田平町	19人
郡外	66人
計	1,546人

あけぼの荘だより

【二月】

◎もよおしもの
△おどりの日　毎週金・日曜日　午後一時から三時半まで
△三味線のけいこ　毎週火曜日から土曜日　午前九時から正午まで。ただし、木曜日は午後三時半まで。
△月例演芸会は二月十七日の予定

〈休館のお知らせ〉
○毎週月曜日
○二月十一日(建国記念の日)十二日は振替休日となります。

14日　生産組合長会
15日　松田九郎事務所移転事務所開き(佐世保)
16日　熊本農政局へ鉱害ヒアリング及び陳情
17日　厚生文教委員会
18日　県国保連合会理事会、県環境対策事業陳情
19日　建設協業組合新年会(平戸=代収入役)、同和研修協議会(佐世保=代)
20日　北松町村剣道武道始め大会(町武道館)、さざなみ保育園、町第一保育園児老人センター慰問会
21日　南部清掃一部事務組合総会(鹿町)

運動量の目安

運動中の脈拍／分　＋　年齢　＝

●150以下(運動が弱すぎます)
●150～190(適当な強さです)
●190以上(運動が強すぎます)

運動をはじめて4分以上後で、15秒間の脈拍を測り、それを4倍します。

文化

短歌　二題

新しく装いなりし文化館
　日々の躍進輝く郷土
真藤静枝

さざん化の今を盛りと咲き匂へど
　運命侘びしく氷雨に散れり
田中てい

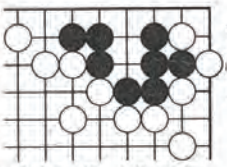
川柳　佐々川柳会

波の色変っただけで船に酔い　松川房枝
面影をテープに残し船は出る　日野迷酊
マドロスの恋へ出船のドラが鳴る　志水トシ子
橋架かり船に未練の旅の客　井上順一
主となら共に漕ぎたい夫婦船　松永茂
大漁旗港になびくはるみ節　南茂
御先祖が血を躍らせた倭寇船　宮原九一郎
連絡船引退飾るはるみ節　赤木マチ子
夕映えに船足急がす北九十九　永吉いくよ
笹船に夢乗せ合って母子耐える　出端九一
罰金で密漁船の泣く赤字　福島京子
新船の幟り賑あう船おろし　福田清子
大漁旗はためく新春の船溜り　福地よしみ
引揚船あの悲惨さを忘れ得ず　本山鈴峰
新婚の頁に残す船の旅　松本静枝
船底に仕事始めの槌の音　大徳屋末太郎

有段を目指して

詰碁

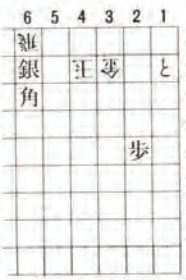
出題　九段　武宮　正樹
白先、黒死　3手まで
●ヒント…自身のダメヅマリに注意しながら相手をダメヅマリにする



5分で4級　2分で1級

詰将棋

出題　八段　北村　昌男
●ヒント…玉を広い所へ逃がさないように。
10分で3級　3分で有段者
持駒　飛金



随筆郷土誌(121)

古川の歴史（その六）

宮原九一郎

橋本商店の南隣は代書人橋川斉徳氏宅であり、現藤井八郎氏宅には松村と言う人がいて、「鶏卵入りまんじゅう」をつくっていた。色の黒い小さなまんじゅうであったが案外味はよくて、一個一銭であった。一円で百個買えた訳であるが、その当時の昭和初期には、サラリーマンの初任給が三十円前後であったのだから経済感覚が違っている。

まんじゅう屋の次に登記所と村役場が並んでいた。現ささなみ幼稚園の全体である。園長さんの住居は多分登記所の建物であったと思うが、登記官の住居と執務室は一ッ棟であり、道路との間に登記申請者の控室があった。

二階建の方が佐々村役場であった。大正二年六月、佐々小学校を移転改築と記録されている。小学校として何年間使用されたかは不明だが、改築してから既に七十数年を経て今尚使用に耐えている。当時の木材の選定と厳しさと、大工の入念な作業に敬服する。

登記所は昭和十年十一月、村役場は同年十二月に中央へ移転したが、古川時代の役場と登記所について、その模様を説明する必要がある。

当時登記所の管轄は世知原、吉井、佐々、小佐々の四ケ村であった。佐々の者は地元だから、登記官がやかましゅうばかり言うと愚痴をこぼす程度で、左程不自由は感じなかったが、交通機関のなかったその頃は、他村の人は書類一枚、印鑑一つ足りなくても、現在のように自動車でちょっと取りに行って来ると言う訳には行かず、その日はすごすごと歩んで帰り、又翌日出直さねばならなかった。

従ってそんな人達が佐々で飲食する機会も多く、前記のまんじゅう屋や、役場の南隣の藤吉飲食店も繁昌していた。

資料館・図書室だより

新しい年が始まりましたが、一月は「行く」月、二月は「逃げる月」、三月は「去る」月と言われるように、月日はあっという間に過ぎてゆきます。あなたは、日々の心の糧を持っていますか。おとなも、子どもと同じように、少しずつ成長してゆきたいものです。

さて、前回、郷土出身の作家による本の収集をはじめましたことを掲載しましたが、宮原九一郎さん（志方）、脇文子さん（中央）、井上順一さん（口石）のご協力もあって、少しずつ集まっています。

佐々町はもちろんのこと、北松、佐世保、その他県内出身、在住の人達が書かれた本についてご存知でしたら、町図書室までご一報ください。

●県図書入れ替えのお知らせ

一月二十二日に、県図書を入れ替えました。県図書には小説や児童図書ばかりでなく、編み物、料理、住まい、健康などに関する本も含まれています。どうぞご利用ください。

できた！の歓声「しめ縄作り」

高齢者の生きがい促進総合事業のひとつである世代間交流「しめ縄作り」を昨年十二月二十三日、佐々町民体育館で実施しました。

これは、昔からのしめ縄作りの技術を体得しているおじいちゃんから子どもさんが教えてもらい、また参加者の皆さんとのふれ合いもでき、一方、交通安全の祈願もこめられた有意義なしめ縄作りでした。

この機会に、初正月を迎えた町民文化会館の正面玄関に大きなしめ縄を高齢者の皆さんが飾りつけられ話題となりました。

指導にあたった山永美義さんは、どうやったら子どもたちが手のひらで要領よく左縄をなうことが出来るか心配だったが、初めてとは思えない出来映えだった。今後ともわら細工の技術を正しく伝えたいと語っておられました。

明日の佐々町をみんなで考えよう

一月五日、成人式の催しが終了した午後一時から約二時間半、菊本町長、松下町議会議長、広川教育長ら各種団体代表二十人で開かれた初の新春放談会は、たくさんの意見が出され、活発な放談会となりました。

会に先立ち、郷里（ふるさと）を全員で合唱し、当日の「誰れもが住みたくなる明るい町づくり」をテーマとして①ふるさと佐々の思い出（はたちの頃）、②老人と若人の問題、③愛のことばで人づくり、④明日の佐々をみんなで考えよう、⑤成人式の行事に思う、⑥その他、世代間交流にふさわしい討議が交わされました。

毎月一日は「少年の日」です。　佐々町　佐々町教育委員会　佐々町少年健全育成会

のびやかに聞いて
話して明るい親子

公民館へ教材を寄贈

このほど、口石町内会の荒木栄さんから映写会用スクリーン一基が寄贈されました。

紙面にて厚くお礼を申し上げますとともにお知らせ致します。

教育講演会

・とき　三月二日(土)　午後一時三〇分
・ところ　佐々町文化会館
・講師　長崎市鍛治屋町　本原邦夫先生（大音寺住職）
・内容　「教える立場　教わる立場」
○大人が教え、大人が子どもから教わる必要性
○ひとりひとりの人間性を高めるためにどんな勉強に努めなければならないか。
・集まる人　各種団体の会員、町内会公民館の関係者はもちろん、一般町民の大人のみなさんは、できるだけ多数集ってください。
・問い合せ　町教育委員会　社会教育担当　☎㊷三二六番

心をつなぐみんなの広場

公民館だより　☎62-2128

つどいと教室

1日　北松浦郡公民館大会　文化会館９時30分
8日　日本フィルハーモニー公演　文化会館18時30分
12日　明生大学（クラブ実績発表）　町公民館13時
17日　県子ども会指導者研修会　文化会館10時
18日　家庭教育学級（人々の心を育てる家庭教育）　町公民館９時30分
19日　婦人学級（望ましい婦人の生き方）　町公民館13時30分
21日　高齢者ボランティア養成講座（体験発表）　町公民館13時30分

２月のお知らせ

役場のでんわは
㊷２１０１です

健康相談

と　き　毎週月曜日
　　９時30分～12時
　　13時～15時
ところ　健康センター
対象者　一般住民
※お気軽にご相談ください。

健康教育講座

と　き　13日(水)13時30分～15時
ところ　健康センター
演　題　「神経痛とリュウマチについて、その２」
講　師　中村剛先生(整形外科)

妊婦相談

と　き　14日(木)９時30分～10時
ところ　健康センター

乳児相談

と　き○14日(木)９ケ月～12ケ月
　　13時30分～15時
　　○21日(木)５ケ月～８ケ月
　　13時30分～15時
　　○28日(木)１ケ月～４ケ月
　　９時30分～12時
ところ　健康センター

"あとで"より"いま"が大切
火の始末

春の全国火災予防運動
２月28日～３月13日

巡回無料法律相談所開設

弁護士による無料法律相談所を、次のとおり開設しますのでお気軽に、ご相談ください。

相談案件に関する秘密は厳守されます。

と　き　28日(木)　13時～17時
ところ　住民総合センター
相談案件　民事・家事・刑事・行政等全ての法律相談
担当弁護士
　　清川　明弁護士

社会保険相談

と　き　14日(木)　10時～14時
ところ　健康センター
※年金、社会保険について個人相談をお受けしますので、お気軽にご利用ください。
尚、次回は３月14日(木)です。

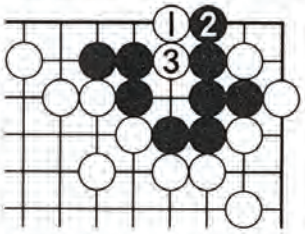
税務課だより

２月は、固定資産税４期分と国民健康保険税９期分の納付期限となっております。

お忘れのないようお知らせします。

２月の行事

４日(月)　節分
11日(祭)　建国記念の日
17日(月)　県子連指導者研修会
　　10時　　文化会館
24日(日)　オリエンテーリング大会（多数ご参加ください。だれでも参加できます。）
・受付９時
・スタート10時
　町公民館前集合



〈詰碁解答〉　Ⓘ1が急所、続いて、Ⓘ3で黒はダメヅマリで手段なし。

〈詰将棋正解〉　４一飛、同飛、５二角成、同玉、５三金まで５手詰め。
〈解説〉　初手５二飛は３三玉以下どんどん逃げられて詰みません。また初手５二角成がたくみそうに見えますが、やはり駒不足で詰みません。

休日在宅当番医　診療時間 午前**9**時～午後**5**時まで

日	医療機関名	所在地	電話
3	山田医院	佐々町	0956-63-3611
10	富田医院	小佐々町	68-2046
11	徳王医院	〃	68-2120
17	田中医院	〃	69-2521
24	中央松瀬医院	吉井町	64-2105
3/3	吉井町立診療所	〃	64-2047

―昭和60年２月１日― 佐々町本田原免168の2(〒857－03) 佐々町役場企画室（電話62-2101） 印刷 ㈲広川印刷